

第1回徳島JRAT大規模災害対応リハビリテーション研修会

平成27年4月23日 15時～18時 於 徳島大学大塚講堂

徳島で初めての大規模災害対応リハビリテーション研修会が、徳島県主催で開催されました。徳島県では圏域ごとに医療、保健衛生、薬務、介護福祉の4分野の災害医療コーディネーターが活動を始めています。災害リハは、この災害医療コーディネーターと協同して活動する方針とし、今回の研修では圏域ごとの災害リハコーディネーターの養成を目的としました。企画は大阪医科大学リハビリテーション医学教室富岡正雄先生にお願いし、参加者の募集・研修会の運営は徳島県が担当しました。

平日の午後にもかかわらず、医師2名、理学療法士10名、作業療法士7名、言語聴覚士2名、看護師1名、行政2名、医学生1名の計25名が参加しました。富岡先生と加藤から、JRATや徳島県の現状について説明した後、参加者を圏域ごとに分けてグループ演習を行いました。発災1日後、1週間後、1ヶ月後の避難所について、東日本大震災リハビリテーション支援関連10団体が企画・編集した「大規模災害リハビリテーション対応マニュアル」（医歯薬出版株式会社）を参考に討議・演習を進めました。予定時間を超過するほど白熱した議論が交わされ、さらに研修会終了後には懇親会も行われ、職種間の交流と議論が深まりました。

徳島県では南海トラフ巨大地震が切迫しており、徳島県を中心として対応を進めています。災害リハについては発災時に円滑に受援できることを当面の目標としています。今回の参加者は地域のリハ基幹施設のリハスタッフや、DMAT 隊員が中心で、圏域ごとの災害リハの中心となることが期待できます。

今後、JRAT の活動を徳島県のリハ関連職に周知し、DMAT、JMAT など医療支援チーム、災害医療コーディネーター等との関連を深めながら、体制整備を進めて行く予定です。

文責 徳島大学病院リハビリテーション部 加藤真介

